

商業科目「簿記」における デジタル教材「帳簿の達人」の作成と活用

— 帳簿の仕組みと決算の一巡の流れの理解を目指して —

商業班 細野道代（高等学校教諭）

現状と課題

- 部分的に理解し練習問題には解答できるが、帳簿組織全体の仕組みは分からない。
- コンピュータ操作に慣れており、活用する能力が高く、学習の理解に効果が見られる。

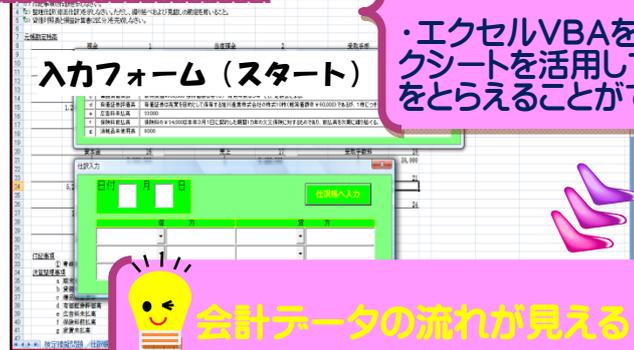


教材の開発



帳簿組織の全体像が分かる

・エクセルVBAを使用し、複数のワークシートを活用して簿記の一巡の流れをとらえることができる。



会計データの流が見える

・計算や入力・転記を、自動化せず、手動で行うことにより、会計データの流が理解できる。

画面の並列表示



帳簿の仕組みが分かる

・勘定科目や財務諸表を色分けし、一つの画面で帳簿のつながりを確認しながら学習を進めることができる。

授業実践

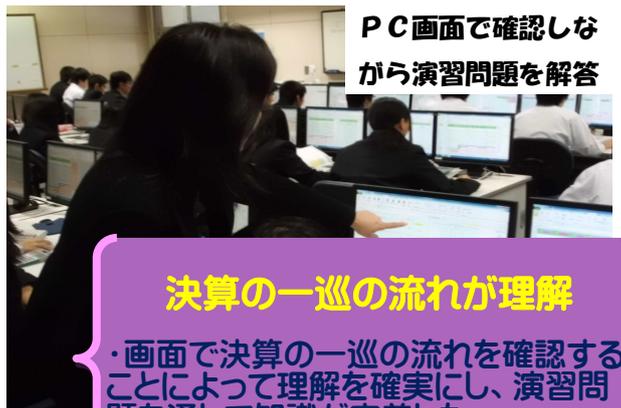
開発教材で学習



よく考えて解答

・コンピュータ活用により、作業時間を短縮。しっかり考えて、問題を解答することができた。

PC画面で確認しながら演習問題を解答



決算の一巡の流れが理解

・画面で決算の一巡の流れを確認することによって理解を確実にし、演習問題を通して知識が定着した。

成果と課題

成果

- コンピュータを活用することで、楽しく意欲的、積極的に学習する様子が見られ、短時間で効果的な学習をすることができた。
- 帳簿決算の理解が確実になっただけでなく、会計データの流れを意識しながら解答することができるようになった。

課題

- 汎用性に富み、誰でも簡単に操作でき、使い易い教材に発展させる。

